

事務事業名		県民交通災害共済事業		成果点検日	平成27年9月1日
				部・局	くらしと文化部
総合計画 体系	章	4章	地球環境との共生と豊かな心の人間社会づくり	課・室	市民課
	節	3節	市民生活の安全・安心への取り組み	係	生活交通安全係
	項	1項	交通安全の推進	内線電話	238
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	2款	総務費	未計上	
	項	1項	総務管理費	実施期間	
	目	5目	交通安全対策費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	市民	多くの市民に加入してもらい、見舞金を給付することで経済的負担の軽減を図る。	
		中学生以下及び身障者会員については、対象者全員加入とし、万が一の交通事故の場合、見舞金で救済する。	
現状・課題	中学生以下と身障者は公費負担している。全体加入率は、H26年度で65.1%である。申込や会費の集金等区にお願いしていることもあり、区の負担が課題になっている。		
市が行う理由及びその根拠	その他	現在、県下15市で組合を組織し、共同により運営しているが、加入や見舞金請求事務等は組合から受託されている。	
事務事業概要	県民交通災害共済にかかる会員の募集・申込等及び見舞金請求事務		
平成26年度の活動指標 アウトプット	活動内容		活動量
	会員の募集及び加入手続き		一般の加入率 57.0%
	中学生以下及び身障者会員について公費負担		8,393人
	見舞金の請求		88件 7,355,000円

事務イン プット	項目		単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	予算額	当初予算	円		2,181,000	2,103,000
補正予算		円				
合計		円		2,181,000	2,103,000	2,158,000
決算（見込）額 A			円	2,143,520	2,118,470	—
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円				
H27は予算額	一般財源	円		2,143,520	2,118,470	2,158,000
職員数	正規職員	人		0.37	0.37	0.30
	嘱託職員	人				
	人件費 B	円		2,442,370	2,446,070	1,983,300
総事業費 A+B		円		4,585,890	4,564,540	4,141,300
市民1人当たりコスト		円		102	103	94

成果指標	アウトカム	平成25年度	平成26年度	平成27年度
一般加入者の加入率	目標	58.9%	57.8%	57.0%
	成果	57.8%	57.0%	—
—	目標			
	成果			—
平成26年度の達成状況と分析	未達成	中学生及び身障者の会費を公費負担することで、保護者等の安心感を得ている。テレビ放映、市ではチラシの配布等で周知をしているが、全体加入率は横ばい。		

平成28年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	万が一の交通事故に備え、交通災害共済への加入促進の周知に努める。						